

(様式3)

5 今年度の重点課題(学校アクションプラン)

・達成目標は一つでも二つでも可。達成目標の下欄は数値を必ず記入。

| 平成28年度 高岡工芸高等学校アクションプラン -1- |  |  |
|-----------------------------|--|--|
| 重点項目                        | 学習活動   |  |
| 重点課題                        | 自ら学ぶ学習態度の育成と基礎学力の定着、わかる授業の推進。  |  |
| 現 状                         | ・各教科の授業において、自ら学習する態度に欠ける生徒がいる。各科目の授業においては、生徒の実態を踏まえながらその指導方法の工夫・改善を進めて分かりやすい授業の推進を図るとともに、生徒の自主的な学習態度の育成と学習意欲の向上を図る必要がある。<br>・中学校程度の基礎的な計算力が不足していることから、特に専門教科の授業について内容を十分理解できない生徒が多数いることから、中学校までの基礎的な計算力を確実に身に付けさせる必要がある。<br>・各種検定や資格の取得に向けた補習を実施するなどして、生徒の資格取得への積極的な取り組みを促し、自ら学習する態度の育成を図っている。 |  |
| 達成目標                        | 基礎計算力テストの実施と分析<br>・年2回(年度当初、年度末)、1年生全員を対象に基礎計算力テストを実施する。<br>・年度末のテストの全ての設問の正答率を70%以上とする。   | 授業の『質向上』のための授業アンケートの実施<br>・担当授業の生徒に対して、年1回以上理解度アンケートを実施する。<br>・また、定着した他の教員の授業を見学する。  |
| 方 策                         | ・年度当初の基礎計算力テストの結果を踏まえ、正答率の低い問題について関係教科で連携し、対策を講じる。<br>・本年度は、内容の精選を実施し問題の改訂を行う。   | ・授業アンケートにより、生徒自身に学習態度の振り返りをさせるとともに、指導内容の理解度や意欲を把握する。これにより改善点を見つけよりわかる授業へ改善する。<br>・実施率向上のために各学期に授業アンケート実施月間を設け意識向上を図る。<br>・互見授業を実施し、自身の授業を改善する。 |

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)

| 平成28年度 高岡工芸高等学校アクションプラン -2- |  |  |
|-----------------------------|--|--|
| 重点項目                        | 学校生活 ～ 自律から自立へ   |  |
| 重点課題                        | 基本的生活習慣の形成と安全意識の向上   |  |
| 現 状                         | ・携帯電話の普及に伴い、生徒の取り巻く環境には様々な事件、事故、そしていじめなど多くの危険が潜んでいる。県教育委員会との連携である、ネットパトロールの報告を受け、生徒がトラブルに巻き込まれる事を未然に防いでいる。しかしながら、SNSはますます複雑になっており、常に情報収集を行いながら、生徒に危機管理意識を植え付けて行かなければならない。<br>・交通事故に関しては昨年度、目標を達成した。しかし、生徒は毎年変わっていく。昨今、交通死亡事故はまだまだ減っておらず、やはりいつ生徒が巻き込まれるかは分からない。また、加害者になるとも限らない。常に、命の大切を伝え、正しいモラル、交通マナーを伝えていかなければならないと考えられる。 |  |
| 達成目標                        | ネットパトロール報告件数を減らす<br>・年間報告件数 20件以下  | 登下校時の交通事故数の減少<br>・年間5件以下                                   |
| 方 策                         | ・集会毎に、SNSに関する情報提供<br>・「心」の教育、モラルとマナーの指導<br>・形態安全教室の実施(1年生)<br>・個別指導  | ・集会毎に交通安全に対する意識の向上<br>・自転車点検による安全の意識の向上<br>・交通安全教室の実施(1年生) |

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)

(様式3)

5 今年度の重点課題(学校アクションプラン)

・達成目標は一つでも二つでも可。達成目標の下欄は数値を必ず記入。

| 平成28年度 高岡工芸高等学校アクションプラン -3- |  |  |
|-----------------------------|--|--|
| 重点項目                        | 進路支援   |  |
| 重点課題                        | 生徒各人が、学校生活をとおり、よりよい勤労観・職業観を身につけ、主体的に進路を選択し決定できる力をはぐくむ。   |  |
| 現 状                         | <p>・2学年末の進路希望調査では、就職希望者で具体的な会社名や職種をあげている生徒は約51%、進学希望者で学校名をあげている生徒は約90%である。全体では約67%の生徒が具体的な進路先を考えているが、反面33%の生徒は就職希望だが、どのような仕事に向いているかわからないとか単に大学や専門学校への進みたいと言う程度、または未定である。自分の能力や適性を鑑みた具体的な進路先を考え、目標を持たせたい。</p> | <p>・民間企業の就職選考試験は9月16日より開始され、今年度は約140名が民間企業への就職を希望している。<br/>・民間企業への就職希望者の第一次選考における不合格者数は、平成25年度10人(136/146)、平成26年度12人(133/145)、平成27年度で8人(127/135)あった。</p> |
| 達成目標                        | 2学年末に具体的な進路先をあげる生徒の割合  | 就職希望者第一次選考での不合格者数(民間)  |
|                             | 80%以上  | 8人未満   |
| 方 策                         | <p>・インターンシップや職場見学、進路ガイダンス等を通して、また就職や進学等の情報をこまめに知らせ、自分の将来の目標を具体的に考えられるように指導する。<br/>・自分の興味・関心ばかりで進路を考えるのではなく、働く事や仕事への興味・関心を持つようにキャリア教育を意識した指導を心がける。</p>  | <p>・各企業が求める人物や適正など、生徒に知らせる。<br/>・適性検査を実施して、その結果より本人の適正、能力について、考えさせる。<br/>・面接時に本人の魅力や考えを伝えられるように指導する。<br/>・多くの先生方から面接の指導が受けられるように指導計画を組む。</p>             |

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)

| 平成28年度 高岡工芸高等学校アクションプラン -4- |  |          |
|-----------------------------|--|----------|
| 重点項目                        | 学校生活   |          |
| 重点課題                        | 学校行事および部活動の充実  |          |
| 現 状                         | <p>・運動会、尚美展、球技大会などの学校行事の満足度アンケートの結果は、概ね80%を超えている。各行事前にはアンケート調査を実施して、代議員による生徒議会も行っているが、事前準備や議会の活性化など十分とはいえない現状にある。<br/>・部活動等への参加は活発で、年度当初の特別活動加入率(生徒会を含む)は98%(兼部を含む延べ人数)を超えている。しかし、中途退部や自主性が低いなどの悩みを抱えている部も散見される。昨年度は約30名の退部者(内18名が部変更)が出ているが、(約3.4%)今年度も昨年並みに抑えたい。</p> |          |
| 達成目標                        | 主たる活動において満足と回答する生徒の割合  | 部活動変更生徒数 |
|                             | 85%以上  | 35名以内    |
| 方 策                         | <p>・各行事ごとに、アンケートの集約を行い、満足度をはかる。また、代議員を通じて、事前アンケートを実施し、生徒の意見集約に努め、活動および生徒議会の活性化を図る。<br/>・教職員の体制を常に検証して、連携の強化と協力体制の維持に努める。<br/>・各集会や生徒会による広報活動を通じて、大会日程および成績の広報に努め、学校全体の雰囲気や生徒のやる気を高める。<br/>・各部の部員数調査を年度当初と年度末に行い部活動を変更した生徒数を調べる。また、各顧問と連携を図りながら、部活動の活性化と充実に努める。</p>     |          |

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)

(様式3)

5 今年度の重点課題(学校アクションプラン)

達成目標は一つでも二つでも可。達成目標の下欄は数値を必ず記入。

| 平成28年度 高岡工芸高等学校アクションプラン -5- |   |
|-----------------------------|---|
| 重点項目                        | PTA活動の活性化   |
| 重点課題                        | PTA役員会の活性化  |
| 現 状                         | <ul style="list-style-type: none"><li>・PTA活動を煩雑で面倒なものと感じている保護者が多く、クラス役員でも全く参加されない方もおられる。</li><li>・PTA各行事への一般会員の参加が少ない。</li><li>・生徒を通じてPTA行事の案内をしているが、保護者に届かない場合がある。</li></ul>   |
| 達成目標                        | 役員会の出席率   |
|                             | 70%   |
| 方 策                         | <ul style="list-style-type: none"><li>・役員間の連絡を密にして、各会合への参加を促すとともに、参加しやすく話しやすい持ち方を検討する。</li><li>・PTA通信や学校のホームページを利用して活動を積極的に発信する。特にPTA行事の際は案内を各家庭に送るだけでなくホームページを利用して情報を受け取ることができるようにする。</li><li>・一斉メールを活用した情報の共有を推進する。</li><li>・役員相互の和気あいあいとした雰囲気醸成に努める。</li></ul> |

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)